

# 教育センター通信

## ほど 火床の火の心を紡ぐ

第7号（通算第26号）  
平成27年10月19日  
三条市小中一貫教育推進課  
教育センター 発行

市内21小学校の4～6年生1018人が出演。3部に分かれて、学校ごとに合唱や合奏を発表しました。写真は10月2日午前の部・井栗小学校。

### 三条市小学校音楽祭



## なぜか動物に嫌われる人の共通点

教育センター指導主事 小池 和秀

なぜか犬や猫などに嫌われる……そんな人はいないだろうか。動物に嫌われる＝悪い人、みたいなイメージを与えかねないので、できればなついてもらいたいところ。

- ◆可愛さのあまり、ジ～と見つめていませんか？動物全般に言えることですが、目を合わせるといのは威嚇（いかく）のサイン。初対面の動物とは目と目で通じ合うことはできない模様。睨（にら）まれていると感じ、とても緊張するようです。
- ◆動物を見つけるや否や声を上げながら駆け寄ったりしていませんか？「可愛い～！」と叫びながら駆け寄る人は、動物にとっては大声を上げながら突進してくる猛獣でしかないよう。人間だっていきなり近づいてきて大声で話しかけられたら嫌ですよ。
- ◆いきなり頭を撫（な）でたりしていませんか？上から覆うように手をかざしたりすると、攻撃されていると感じて嫌がる犬や猫も多い。人間だって知らない相手にいきなり手を出されたら防御態勢をとりますもんね。動物にとって予想外の動きをする人には、怯（おび）えたり敵と見なしたりして寄っていかないことがあります。
- ◆香水をつけていませんか？犬に関していえば、香りが原因の可能性も。ご存じの通り犬は嗅覚が鋭く、において敵味方を判断することもあります。人間が良い「匂い」と思っているけど動物にとってはつらい「臭い」であることも。香水などを付けすぎていると、避けられることがある。特に、柑橘系の香りなどは苦手。肉などがすっぱくなることを毒だと認識しているからだと考えられています。腐った食べ物を目の前に出されるようなものですよ。
- ◆どうすれば仲良くなれるのか？動物から近づいてくれるのを待つ。自分の気持ちを押し付ける前に、動物から近くに来てくれるのを待つ。来てくれたら信用してもらえるように「挨拶」をしましょう。まずはしゃがんで視線を同じ位置にすること。動物は自分より大きい生き物を怖がりします。正面からだどビックリしてしまうので横にしゃがみ、小さくなって安心させましょう。次に、目を見つめすぎず、最初は手のおい（か）を嗅（か）がせるくらいでいいでしょう。ジッと見たくなるのを我慢…。威嚇していることになってしまいます。手を差し出すときは下からゆっくりと出しましょう。においを嗅いでも逃げないようなら、あごの下をなでてあげ、気持ちよさそうにしているならそのまま背中などをさすってあげます。「自分は敵ではないよ。」ということをお伝えしましょう。

## 第2回小中一貫教育推進マネジメント研修

9月8日、推進リーダー、コーディネーターを対象とした標記研修会を開催しました。

### ◆平成27年度点検・評価実施計画について…小杉指導主事

- 1 アンケート項目 小中一貫教育に関わる項目 ※平成26年度と同じ項目・内容
- 2 調査対象者 全小学校第5・6学年の全児童とその保護者  
全中学校第1～3学年の全生徒とその保護者  
小・中学校の全教職員（非常勤のスクールアシスタントを除く）
- 3 記入方法等 無記名アンケート マークシート方式
- 4 回答期間 12月9日（水）～15日（火） 保護者は18日（金）まで
- 5 回収の仕方 ①児童生徒：学級担任が回収用封筒に入れコーディネーターへ  
②教職員：コーディネーターへ  
③保護者：配付用封筒に入れ、子どもを通じて学級担任へ
- 6 市教委提出 コーディネーターが①②③を集め12月21日（月）までに提出
- 7 結果の提供 数値データ：28年1月下旬 分析、考察結果：28年2月中旬



↑

### ◆点検・評価に係る学区独自の取組発表<大崎中学校区>…大崎小学校教務主任・桐生 太先生

<b>【中学校教員による小学校への乗り入れ授業】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校音楽祭に向けた5年生への音楽指導</li> <li>・4年生「図工」における“のこぎり指導”</li> </ul>	<b>【9年間を見通した児童生徒支援】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中合同学習参観日の設定を検討</li> <li>・学級、学年懇談会の持ち方の工夫</li> </ul>
<b>【9年間を見通した学習支援】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校、中学校全学級における「◎」と「まとめ」を取り入れた板書づくり</li> <li>・小中合同家庭学習強調週間</li> <li>・全員参加の「小中合同研修会」「懇親会」</li> </ul>	<b>【地域との連携活動】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTCAボランティア（花植活動）</li> <li>・小中合同あいさつ運動（春・秋）</li> <li>・大崎地区体育レクリエーション大会における小学生と中学生によるリレー</li> </ul>
<b>【人間関係力の育成】</b> ・小中一貫教育に関わる「善行表彰（全校表彰）」	

### ◆グループ協議の内容（要約）※事前アンケート集約結果をもとに中学校区ごとのグループで協議。

- 夏の研修会で指導者が話されていたが、乗り入れ授業は“持ちつ持たれつ”ではなく、どちらもいい面がある“ウィンウィンの関係”を。中学校の負担感の軽減・改善が必要だと思う。
- 保護者・地域へのアピールや認知度を上げることはたより等の手だてで尽くした感がある。乗り入れ授業や交流活動の生の姿を見せることで、より保護者・地域の理解度を高めていきたい。
- アンケート結果を次年度にどう生かすかが大事。あらかじめアンケート内容を重点化しておき、それについて集約・分析していけば、次年度の教育活動の改善を図っていけるのではないかな。
- ハイパーQUの結果を小中一貫教育に生かせないか。無記名だが有効な資料なので、小中間の引継ぎにだけでなく、その子どもの変化・成長や支援してきた内容を引き継いだらどうか。



吉川教育センター長挨拶



大崎中学校区の取組発表



グループ協議



協議内容の発表

### 【受講者の声】

- ・小中の文化の違いは大きく一朝一夕に埋まるものではないという桐生先生のお話にとっても共感しました。お互い立ち位置は違うけれど、その中で寄り添いあって進めていくことが大切だと思いました。
- ・他中学校区の取組や評価の現状が分かった。市全体でしっかりと小中一貫教育を推進しなければと思った。
- ・アンケート結果から見えてくること、ねらいを意識した活動を工夫・改善していくことの大切さを実感しました。それを中学校区で協議できたのも具体的な話し合いになりよかったです。
- ・毎回新しい発見があり、多様な刺激を受けています。前回、今回のような研修を継続してほしい。

## 第 10 回科学ゼミナール開催

### 「JAXA で働くということ」



「宇宙飛行士は長い期間、体力的にも、心理的にも大変なのに、その仕事を粘り強く続けていく。また、その周りのたくさんの人々も苦勞し、協力しながら働き、宇宙の謎が一つ一つ科学的に解明されているのだと気付きました」  
「講師の方が、とても熱く、私たちに宇宙について教えてくださり感動しました。私も何かに一生懸命に取り組める人になりたい。」

これは第 10 回「科学ゼミナール」を受講した生徒の感想です。

「科学ゼミナール」のねらいは、中学校の生徒を対象に自然科学の最先端の

研究に携わる専門家や、科学技術に関する著名な指導者による講演をとおして先進的な知識を学び、広く素養を身に付けることにあります。また、専門家の生き方にも触れながら科学への興味・関心を高め、探究心を呼び起こして自分の将来や生き方について希望を育てることにあります。このねらいのもと、3年間で市内全中学校を一巡する計画で、今年度は第二中学校、第四中学校、大島中学校を対象に理科或いは総合的な学習の時間に位置付け実施されました。

講演「独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）広報部 木場田 繁さん  
～ JAXA で働くということ ～ロケットから宇宙飛行士まで～

講演では、宇宙環境と地球環境の違いにふれながら、

- 1 「メルヘン」から「21世紀の現実」へ
- 2 宇宙空間とJAXAの使命、求める人材
- 3 宇宙への旅とロケットの開発
- 4 日本の人工衛星と惑星探査機
- 5 日本の宇宙飛行士
- 6 将来に向けた研究

について、映像も添えて説明され、宇宙開発や航空機開発に向けての人々の熱い思いを親しみ深く講話されました。

「空気のない、無重力の、270℃の温度差のある過酷な宇宙環境」

「宇宙船へ物資を運搬する『このとり』は大型バスの大きさ」

「その『このとり』を先端に付けて飛び立ち、宇宙空間へ正確に運んで無事に役目を果たした日本のHⅡBロケット」

「豊かな現在の日常生活に切り離せない人工衛星の多様な役割と活躍ぶり」

「『はやぶさ2』の取組と探査計画、2020年の帰還にける期待」

など、次々に展開される講話の新鮮な内容に、時間を忘れて耳を傾けることができました。

まとめには、中学生が勉強する内容は宇宙活動の基礎としてもとても重要なこと、JAXA や宇宙飛行士に求められる人材は多岐にわたるが、科学技術の専門性と豊かな社会性を身に付けた人であること、そのためにはコツコツと粘り強く努力を積み上げることが大切と説かれました。

また、資質を磨きながら「正しく知り、正しく恐れ、正しくチャレンジする」心を磨くよう締めくくられました。

質問コーナーでは「宇宙飛行士になるには、どうすればいいのですか」「宇宙飛行士になる試験はどんな内容が出るのですか」と、生徒の期待感の高揚を裏付ける問いかけが次々に出されていました。



# 「全国サミット in 三条」開催に向けて ～その5～

「全国サミット in 三条」が目前に迫りました。最終確認の意味を込め、日程等を記します。

【サミットテーマ：みんなで創る小中一貫教育～三条市の挑戦～】

【第1日目：10月22日（木）】

授業公開学区	会場	受付	公開授業	協議会
第一中学校区	嵐南小、第一中	12:45～	13:30～	14:30～16:00
第二中学校区	一ノ木戸小、第二中	10:35～ 12:40～	11:20～ 11:25～ 13:20～	14:20～16:00
第三中学校区	裏館小	13:00～	13:30～	14:35～16:00
大島中学校区	大島小、須頃小、大島中	11:00～ 13:00～	11:25～ 13:30～	14:30～16:00

## ★公開授業

第一中学校区	〔テーマ〕全教職員が連携・協力して児童・生徒を育てる授業づくり等の工夫 乗り入れ授業7 協働授業10 小中交流授業3
第二中学校区	〔テーマ〕「まなび」「こころ」「からだ」「ちいき」～9年間のつながりを意識して～ 幼保小交流活動1 地域連携活動2 小中教職員によるTT授業4 小中教員が共に行う授業づくり1 中3生徒による学習補助1
第三中学校区	〔テーマ〕ふるさと三条を誇りとし、次代をたくましく生き抜く児童生徒の育成 ～憧れ感・自己有用感を、地域とともに育むキャリア教育の実践～ 小中教職員によるTT授業4 小中交流授業1 地域人材を活用するキャリア教育1
大島中学校区	〔テーマ〕小規模校における人間関係づくりを中核とした取組 ～学び合う授業・協働する教職員・つながる地域～ 小中一貫カリキュラム授業10 小中教職員によるTT授業3 「島中絆タイム」の実践1（「国立妙高青少年自然の家」企画専門員等）

〔授業公開についてのアンケート〕 4：そう思う 3：大体そう思う 2：あまり思わない 1：思わない

- Q1 参加授業公開校区の取組内容は理解できましたか。  
Q2 指導案集は参考になる内容でしたか。  
Q3 公開授業は参考になりましたか。  
Q4 授業では、9年間の系統的な学びの連続性・適時性を感じましたか。  
Q5 児童生徒の学習意欲が向上するような授業でしたか。  
Q6 協議会での参加授業公開校区の取組内容は参考になりましたか。  
Q7 協議会の指導者助言は参考になりましたか。

【第2日目：10月23日（金）】 会場：第一中学校・嵐南小一併校

受付	開会行事	基調講演	プレゼンテーション	昼食・休憩	シンポジウム
9:00～9:30	10:00～10:30	10:30～11:30	11:40～12:10	12:10～13:30	13:30～15:30
ポスター展示（9:30～16:00）			ポスターセッション（12:30～13:10）		

〔全体会等についてのアンケート〕 4：そう思う 3：大体そう思う 2：あまり思わない 1：思わない

- Q1 大会冊子（要項）は参考になる内容でしたか。 Q5 ポスターセッションは参考になる内容でしたか。  
Q2 開会行事の挨拶は参考になる内容でしたか。 Q6 シンポジウムは参考になる内容でしたか。  
Q3 基調講演は参考になる内容でしたか。 Q7 義務教育学校の必要性を感じましたか。  
Q4 プレゼンテーションは参考になる内容でしたか。 Q8 サミットに参加してよかったですか。

【申込数】	1日目（10/22：木）					2日目 （10/23：金）
	第一中区	第二中区	第三中区	大島中区	合計	
市内教職員	239	135	136	98	608	608
市外・県外	171	90	81	77	419	478
合計	410	225	217	175	1027	1086

（10月16日現在）